

太



陽

6

〈巻頭言〉 花と愛

花を観ると心がひかれる。花は私であり、私は花である。私と花は一体であり、愛は等しいものである。あなたは花の英知を感じ、「すすみ？ 私と花は友達です。」

10月例会 出席者 2名

- 。東京本部における久保田会長のテーマをきいてからいつもなら、質疑応答になるのですが、小川君が「大勇起し、今から『生命の科学』を研究しよう」と発した。今月から次のようにならうとした。
- 。「生命の科学」を使用
- 。月に一言果つてはなく、一言果の小見出しを意見、研究発表する。
- 。実践をしいて、何かあれば発表する。
- 。テン・シー練習は、東京本部における、テーマを活用し用いている。
- 。一学一句が高貴な想念が流れている。
(生命の科学)

日本 G A P 紀 南 会

「生命の科学」 研究発表

第1課 P.5~P.8 生命の分析

生命の探究とはなんだろう。？

目に見えるものから、その内部に存在する、宇宙の創造主を理解する。

それを認識し、心によって知覚をする。当然のことと思いますが、実践にあたっては、マインドのコントロールが必要かと思ひます。

以上

1985年度日本GAP総会に出席して

日本GAP創立25周年記念総会に初めて二で

出席させてもらった。スライドを使用して、重要なお話しをきくことができ、幸せである。後から何か込み上げてくるものがある。会員の皆様と交流できたことを感謝したい。スリースプラザの方々、久保田先生、東京本部の方々、GAPの会員の皆様にごきお礼の想念をお送りしたい。

以上

後がき

「太陽」6号がある事と青により、
「短信」的になったこととどうぞご
配慮を頂きたい。(H)

1985.10.29

発行

千519-58

発行

編集発行人 松口幸之助

所

日本GAP紀南会

日本GAP紀南会報 第6号

三重県南牟婁郡紀宝町平尾井九九三